

サステナビリティをクリエイティブに、 クリティカルに考える

Criticality and Creativity
for a Sustainable Future



加藤 久美

KATO Kumi

特任教授

Project Professor

専門領域 Areas of expertise

■持続可能な観光地域マネジメント

Sustainable destination management

■クリティカルツーリズム

Critical tourism

■持続可能性

Sustainability

■コミュニティ

Community

■ウェルビーイング

Wellbeing

■創造

Creativity

主な担当科目 Subjects

■Sustainable Destination Management

■Tourism Futures

■サステナブルデスティネーション特論 (大学院)

■観光倫理と持続可能性 (大学院)

■熊野古道を歩く



tourism

Love your place
Share it with the world

研究活動 Research

□持続可能な観光地域づくり

SDGsやSTI(指標)も活用し、地域がよりサステナブルに成長し、総合的な地域ウェルビーイングを高める過程を支援する仕組みや人材育成の方法を探る(STARs:持続可能な観光評価システム)



□クリエイティブ・アクティビズム

観光におけるサステナブルな選択を広義の「ソーシャルアクション」と捉え、来訪者、地域、事業者、地域の参画を推進する。



□環境倫理、環境責任

自然利用の伝統知識や技術にある持続性や共生の理念(精神文化)を持続可能な地域づくりの基盤と捉え、その理論的考察、政策・戦略への実践的応用を進める。

□持続可能な復興

途上国発展や被災地復興における地域コミュニティのエンパワメントを重視、地域の環境・社会のサステナビリティ向上に観光はどのように役立つのかを探る。



教育活動 Education

サステナビリティ研究室

自然環境との関わりから生まれる地域特有の文化(環境文化)にある共生の知恵や価値観を重視し、持続性ある社会のあり方、生き方を考えて行きます。日常生活や自分の興味にある「サステナビリティ」を身近な課題とし、想像・創造力を生かした取組、実行方法を考えます。



浜通り観光班

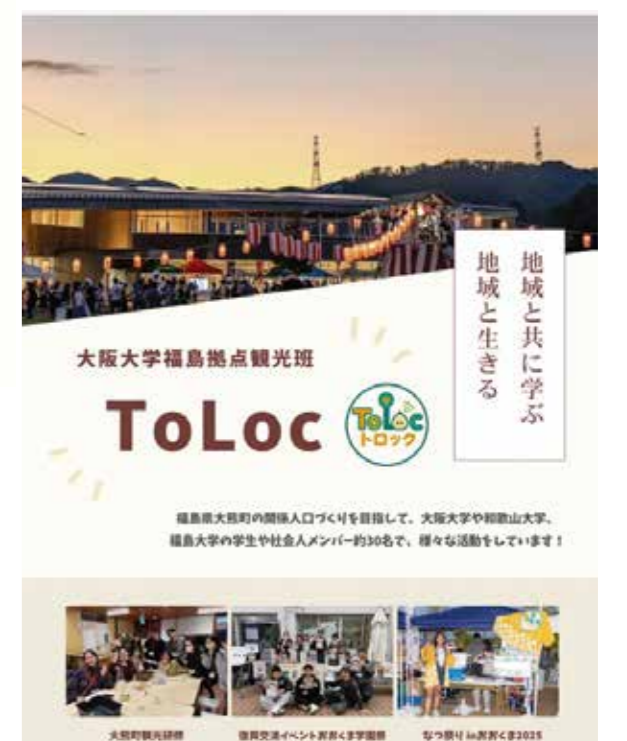
ToLoc(大阪大学核物理研究センター、福島拠点(大熊町)との連携により「持続可能な観光地域づくり」に取り組んでいます。

「地域とともに生きる、地域とともに学ぶ」

【ミッション】

観光班は「サステナブル・ツーリズム」の視点から、地域の「魅力・強み(観光の光)」を①発見、強化、磨き上げ、発信する ②支える人(交流・関係人口)を拡大する ③地域を多様な学びの場とする、ことによって、地域に豊かさをもたらす活動に取り組みます。

ストーリーマップ、観光のまなざし勉強会、大熊観光アカデミー、地域行事支援、など



熊野古道を歩く

熊野古道中辺路を歩き、地域の自然と深い文化にふれ、持続可能な観光のあり方を検討します。

